

7. 特別区債・基金の活用

平成17年度は、平成16年度に続き、財政調整基金の取り崩しを行わなかった。基金の活用額も過去10年で最も低かった。

歳出をまかなうための財源としては、税込等の好調な時期に蓄えた各種基金の取り崩しや特別区債の発行などに求めてきた。基金については、平成17年度までの10年間で、全体として約244億円を取崩してきた。このうち財源不足に伴う財政調整基金の活用が約47億円、施設建設関係は、約184億円となっている。

平成17年度は、平成16年度に続き、財政調整基金の取り崩しを行わなかった。これは特別区交付金が前年度に比べ、約12億5千万円の増となったことなどによるものである。基金全体の活用額でも、17年度は用地の購入等がなかったこともありこの10年間で最も少なかった。

一方、特別区債は、平成8年度からは健康センター、平成11年度からは生涯学習センターなどの建設財源として活用しており、この10年間に発行した額は約330億円となる。

平成17年度に発行した5億6千万円のうち、4億1千万円は区税等の減収に伴う財源不足額を補う減税補てん債であり、平成8年度からの発行額は、10年間で約76億円となっている。

区債発行額と基金活用額の推移

単位：百万円

区分	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
区債発行額	11,775	4,573	4,260	4,243	2,497	3,375	1,424	450	445	560
うち減税補てん債等	2,181	1,995	1,018	377	414	0	418	402	397	410
基金活用額	3,897	3,679	1,703	4,017	4,323	2,558	958	1,824	717	705
公共施設建設基金	936	2,890	620	1,511	1,456	1,050	107	223	220	420
都市整備基金	1,446	390	327	1,750	1,713	590	303	1,135	200	0
環境整備基金	166	9	90	74	151	30	141	0	187	280
財政調整基金	1,344	380	656	672	590	489	322	229	0	0
その他	5	10	10	10	413	399	85	237	110	5

区債発行額と基金活用額の推移

